

執筆者紹介

村上 俊介 本研究所研究参与

〈編集後記〉

「望月清司先生追悼 望月清司・人と思想」をお届けする。望月清司先生は1983年から1987年まで専修大学経済学部長を、そして1989年から1998年まで専修大学学長を3期勤められた。本研究所との関係では、『専修大学社会科学研究所70年史』(2020年)によると1969年度と70年度に事務局長として貢献され、また『社研月報』にも15回の論稿を寄せられていた。1999年に退職され、今年2月1日にお亡くなりになった。享年93歳。

筆者の村上俊介氏は、2003年度から2008年度まで社研事務局長を、そして2013年度から2016年度まで所長を務められ、上記『専修大学社会科学研究所70年史』の編纂を主導された。2021年3月に定年退職されてのち、現在は社研参与のお立場である。

本稿によると、村上参与が大学院生として望月清司先生の大学院ゼミに入ったのは1973年とのことだから、お二人の師弟関係はちょうど50年の長きにわたる。本稿は、その間のお二人のメールや、社研月報第574号『望月清司先生に聞く』(2011年4月)で掲載されないまま残されたインタビュー・データの一部を材として、望月先生の少年期から、専修大学での学生時代、教員時代の足跡、あるいは退職後の交流を通じた望月先生の人物像と市民社会思想が浮き彫りにされている。同時に、そこにはお二人の交流の有様を垣間見ることができる。ぜひご一読願いたい。

望月清司先生のご冥福をお祈りする。

(MS)

2023年4月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 株式会社グラフィカ・ウエマツ

新宿区下落合4-21-19 目白LKビル3F 電話 (03)6915-3835
